

## 六月 月例集会

あっという間に二か月が過ぎました。一学期のほぼ半分が終了したことになります。

一年生は中学生として、二年生は先輩となって、三年生は最上級生としての自覚を持ち、勉強や部活動、学級、生徒会活動、行事に励んでいますか。

本校には、中田前校長先生が示した「A B C D大作戦」があります。一年生にはなじみが薄いかもかもしれませんが、階段突き当りの掲示板に掲示されているものです。「A 当たり前のことを」「B 馬鹿にせず」「C ちゃんと」「D できる」です。

先日、避難訓練がありました。講評で述べたとおり、避難する皆さんの様子は大変素晴らしいものでした。避難訓練であることの「当たり前」を、当たり前に行えた姿です。一方で、避難経路となっていた自転車置き場で、はみ出して止めてあった自転車が、避難の妨げとなっていました。いろいろと言いつ分はあるでしょうが、「当たり前」を、当たり前できていない姿でした。

「当たり前」は、決してやらされるものではありません。「呼吸」をするように、その人の内側から来る、とても自然な行為です。

昨日、交通事故がありました。幸いにして、大きな怪我もなく、大切な命は守られました。「いったん停止」「左右確認」は「当たり前」です。私だけ、事故にあわないという例外は決してないのです。通学途中の「当たり前」は、命を守る「当たり前」であることを、心に刻んでください。

「勉強」や「授業」での「当たり前」、部活動、学級での「当たり前」等、日常生活の中での「当たり前」を、今一度振り返り、一学期後半の二か月に臨んでほしいことを伝え、六月月例集会の言葉とします。